

令和7年度教員採用選考について

義務教育課
 高校教育課
 特別支援教育課

1 求める教師像

(1) 長野県の教員の使命・任務 子どもの命と安全を守り、夢や可能性を育む
 専門性を磨き、人間力を高めるために学び続ける

(2) こんな人を求めています

- ① 教育者としての使命感と責任感を持ち、社会人として規律を遵守する人
- ② 教育への情熱を持ち、真摯に子どもを理解しようとする人
- ③ 豊かな人間性と広い視野、確かな人権意識を持ち、子どもや保護者の思いに共感できる人
- ④ 同僚や保護者、地域の方々と協力し、共に汗を流し行動する人
- ⑤ 創造性と積極性があり、常に向上し続けようとする、心身のたくましさを持っている人
- ⑥ 幅広い教養と教科等の専門的な知識・技能を持ち、柔軟に対応することができる人
- ⑦ 探究的な学びや、校内外での様々な活動に対して、積極的に取り組むことのできる人

2 選考の日程及び会場

令和6年4月12日(金)	募集要項配布開始
4月15日(月)	志願受付開始 全てながの電子申請サービスによる
5月7日(火)	志願受付締切り
6月29日(土)・30日(日)	一次選考(小学校、中学校、特別支援学校) ・会場…長野市立柳町中学校、長野市立東部中学校、 長野市立櫻ヶ岡中学校 *特別選考④⑦⑧は東信教育事務所、伊那合同庁舎、飯田合同庁舎、 長野合同庁舎、なんなんひろば(松本市)の各会場
6月29日(土)	一次選考(高等学校) ・会場…長野県長野商業高等学校
7月下旬	一次選考結果発表
8月5日(月)・6日(火)・7日(水) ・8日(木)・9日(金)	二次選考(小学校、中学校、特別支援学校) ・会場…信州大学教育学部附属長野中学校、 信州大学教育学部附属長野小学校
8月5日(月)・6日(火)・7日(水) ・8日(木)・9日(金)	二次選考(高等学校) ・会場…長野県長野工業高等学校
9月下旬	採用予定者発表

※ 信州UIJターン秋選考については、12信州UIJターン秋選考実施要項参照。

3 採用予定の教員の種別、教科及び人数

(1) 小学校・中学校教員選考

学校種	教員の種別	教科	各ブロックの採用人数	全県合計人数
小学校	★小学校教諭		東信 42名程度	225名程度
			南信 70名程度	
中北 55名程度				
北信 58名程度				
中学校	★中学校教諭	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語	東信 27名程度	135名程度
			南信 43名程度	
義務教育学校	★養護教諭		中北 34名程度	
			北信 31名程度	
	★養護教諭		東信 若干名	15名程度
	栄養教諭		南信 若干名	
			中北 若干名	
			北信 若干名	
				若干名

★は、「ブロックの採用数を設定した採用」を行う。

(2) 特別支援学校教員選考

学校種	教員の種別	教科	採用人数
特別支援学校	特別支援学校教諭		55名程度

(3) 高等学校教員選考

学校種	教員の種別	教科	採用人数
高等学校	高等学校教諭	国語 地理歴史 公民 数学 理科 保健体育 芸術（音楽・美術・書道） 外国語（英語） 農業 工業 商業 家庭 情報 福祉	90名程度
	養護教諭		若干名

(4) 身体に障がいのある人を対象とした教員選考

学校種	教員の種別	教科	採用人数
小学校 中学校 義務教育学校 特別支援学校 高等学校	小・中学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭	(1) (2) (3) に準ずる	10名程度 (1),(2),(3)の内数

(5) スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

学校種	教員の種別	教科	採用人数
小学校 中学校 義務教育学校 特別支援学校 高等学校	小・中学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭	(1) (2) (3) に準ずる	若干名 (1),(2),(3)の内数

※注

- ① (1)～(5)のいずれかを選択して受験することとなります。
- ② 小学校・中学校教員選考の「ブロックの採用数を設定した採用」受験者は、出願時に「東信」「南信」「中信」「北信」の4つのブロックのいずれかを選択します。
- ③ 採用人数は、現時点の目安であり、変更することがあります。
- ④ 高等学校教員選考の「教科」項目中の()内は、主たる専攻区分を示しています。

4 申込資格

- (1) 昭和40年4月2日以降に生まれた者。
- (2) 希望する教科若しくは職の普通免許状を有する者又は令和7年3月31日までに取得見込の者(授与申請をし、免許状が発行される見込みの者)。なお、養護教諭希望者で、令和7年の春までに行われる国家試験によって保健師免許状を取得後、令和7年3月31日までに養護助教諭免許状(臨時免許状)取得予定の者も含まれます。また、博士号取得者を対象とした選考を受験する者で、受験する校種、教科の普通免許状を有していない者は、選考後に特別免許状の申請をして取得する必要があります。
- (3) 特別支援学校教諭については、基礎免許状として小学校又は中学校教諭免許状を有する者で、特別支援学校教諭免許状を有する者(平成19年3月31日以前に盲学校教諭免許状、聾学校教諭免許状、養護学校教諭免許状を取得した者を含む。)又は令和7年3月31日までに基礎免許状、特別支援学校教諭免許状をともに取得見込の者(授与申請をし、免許状が発行される見込みの者)。もしくは、基礎免許状として小学校又は中学校教諭免許状を有する者で、令和7年3月31日までに特別支援学校教諭免許状の授与申請要件を満たす見込の者。

※免許法認定講習や通信大学等で単位取得をされる方は、授与申請に必要な要件及び発行日等について必ずご確認ください。免許の申請について不明な点がございましたら、長野県教育委員会高校教育課(026-235-7429)にお問い合わせください。

- (4) 小学校・中学校・特別支援学校教員選考を受験する者は、複数校種(小・中・特別支援学校)・複数教科等の免許状を有することが望ましいです。

- (5) 高等学校の「地理歴史」は公民の免許状を、「公民」は地理歴史の免許状を、「書道」は国語の免許状をそれぞれ有することが望ましいです。「情報」は他教科の免許状を有することが望ましいです。
- (6) 高等学校の「福祉」は他教科の免許状も有する者とします。
- (7) 身体に障がいのある人を対象とした教員選考を受験する者は、身体障害者手帳(1級から6級)の交付を受けていることが申込資格です。大学推薦選考では、在学する大学の推薦を受けた者で、令和7年3月に卒業見込又は大学院修了見込の者とします。推薦の対象となる教員の種別は、小学校教諭、中学校教諭(全教科)、特別支援学校教諭、小・中学校養護教諭、栄養教諭です。詳細は別途定める「身体に障がいのある人を対象とした大学推薦選考実施要項」によります。長野県教育委員会ホームページに掲載します。
- ※ 受験にあたっては、受験者からの申し出をもとに障がいの種類や程度に応じて、文字・用紙の拡大、手話通訳によるコミュニケーション、試験時間の延長、試験会場・座席の配慮、実技試験の一部免除等、支障なく受験できるように努めます。
- (8) スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考を受験する者は、以下が受験条件です。
- 年齢制限を満49歳以下とする。(令和7年3月31日現在)
 - 「競技者」は、次の①又は②のいずれかの実績要件を満たす者(平成28年4月1日以降の実績に限る。)
 - ①国際規模の競技会(オリンピック・パラリンピック競技大会、世界選手権大会、アジア競技大会、ユニバーシアード競技大会等)に日本代表選手として出場した競技者(団体競技については試合に出場した者)。
 - ②全国規模の競技会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本学生選手権大会等)において、8位以上の成績を収めた競技者(団体競技については試合に出場した者)。
 - 「指導者」は、次の③又は④のいずれかの実績要件を満たす者
 - ③国際規模の競技会(上記①に同じ)に日本代表選手として出場した競技者、又は全国規模の競技会(上記②に同じ)で8位以上の成績を収めた競技者(団体競技については試合に出場した者)を、その大会の出場に際して直接指導した者。
 - ④国際規模の競技会(上記①に同じ)、又は全国規模の競技会(上記②に同じ)に選手(団体競技については試合に出場した者)としての出場実績があり、指導者を希望する者。
 - 詳細は別途定める「スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考実施要項」によります。長野県教育委員会ホームページに掲載します。
- (9) 信州UIJターン秋選考は、令和7年度長野県公立学校教員採用選考未受験者かつ長野県以外の国公立学校の正規教員であり、受験時に1年以上の正規教員経験がある者とします。詳細は別途定める「信州UIJターン秋選考実施要項」によります。長野県教育委員会ホームページに掲載します。
- (10) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しないこととします。

5 選考区分 ※「一般選考」「社会人を対象とした選考」の双方を受験することはできません。また「特別選考」を複数受験することはできません。

(1) 一般選考

受験者の条件	なし
--------	----

(2) 社会人を対象とした選考

① 教職(常勤・非常勤講師を含む)経験者を対象とした選考

受験者の条件	学校、幼稚園で次の経験が令和7年3月31日現在で通算3年以上ある者(講師・養護助教諭は、常勤・非常勤を問わない。)教諭受験者は、教諭又は講師の経験。養護教諭受験者は、養護教諭又は養護助教諭の経験。栄養教諭受験者は、栄養教諭の経験。
--------	---

② 民間企業等経験者を対象とした選考

受験者の条件	民間企業、教職以外の公務員、NPO等の経験が令和7年3月31日現在で通算3年以上ある者又は青年海外協力隊等の国際貢献活動の経験が令和7年3月31日現在で通算2年以上ある者。
--------	--

(3) 特別選考 (採用人数は何れの選考においても、3(1)(2)(3)(4)(5)の採用人数の内数)

① 補欠合格者等を対象とした選考

採用する教員の種別	小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭・養護教諭
受験者の条件	前年度、本県の教員採用選考で補欠合格者又は合格者となった者で、前年度と同一の校種・教科を志願する者。

② 大学推薦選考

教員の種別	小・中・特別支援学校教諭
受験者の条件	小学校・中学校の教諭志願者は、小学校及び中学校教諭免許状をいずれも有している者（取得見込を含む。） 特別支援学校の教諭志願者は、小学校、中学校、特別支援学校教諭免許状（免許状の領域は問わない）をいずれも有している者（取得見込を含む。） 長野県教育委員会が依頼した大学の推薦を受けた者で、令和7年3月に卒業見込又は大学院修了見込の者。詳細は別途定める「大学推薦選考実施要項」による。長野県教育委員会ホームページに掲載する。※「身体に障がいのある人を対象とした教員選考」の大学推薦選考については、申込資格を参照のこと。

③ 発達障がい児童生徒特別支援のための選考

教員の種別	小・中学校教諭
受験者の条件	希望する学校種の普通免許状を有していることに加え、LD(学習障がい)、ADHD(注意欠陥多動性障がい)、自閉症スペクトラム等、発達障がいに関する専門の知識 ^{※1} を有する者。また、それらの資格を生かして学校やNPOなどで当該児童生徒の教育や療育等に携わった経験 ^{※2} が令和5年度又は令和6年度にあり、かつ、令和7年3月31日現在で通算3年以上ある者。 ※1 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、学校心理士、臨床発達心理士、特別支援教育士の有資格者、又は特別支援学校教諭普通免許状(平成19年3月31日以前に盲学校教諭免許状、聾学校教諭免許状、養護学校教諭免許状を有した者を含む)所有者。 ※2 小・中学校の特別支援学級、通級指導教室担当の教諭、講師(教員免許状を必要としない特別支援教育支援員等は含まない)、発達障がいの療育・相談機関等における療育、相談担当の経験。

④ 博士号取得者を対象とした選考

教員の種別	中学校教諭(数学、理科) 高校教諭(数学、理科、農業、工業、情報)
受験者の条件	受験する教科の分野における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識をもち、理数好きの生徒等を育てる意欲のある者。教員免許資格の有無は問わない。
選考方法	上記「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。

⑤ 正規教員経験者を対象とした選考

教員の種別	小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭・養護教諭
受験者の条件	○国公立学校の正規教員として令和7年3月31日現在で通算3年以上の勤務経験のある者。 ・小・中・特別支援学校の教諭志願者は、令和5年度又は令和6年度に国公立小・中・特別支援学校で教諭又は常勤・非常勤講師の経験を有すること。 ・小・中学校の養護教諭志願者は、令和5年度又は令和6年度に国公立小・中・特別支援学校で養護教諭又は養護助教諭の経験を有すること。 ・小・中学校の栄養教諭志願者は、令和5年度又は令和6年度に国公立小・中・特別支援学校又は共同調理場で栄養教諭又は栄養士の業務の経験(勤務形態は問わない)を有すること。 ・高等学校の教諭志願者は、令和5年度又は令和6年度に国公立高等学校で教諭又は常勤・非常勤講師の経験を有すること。 ・高等学校の養護教諭志願者は、令和5年度又は令和6年度に国公立高等学校で養護教諭又は養護助教諭の経験を有すること。 本年度、採用選考を実施する教科等に限る。

⑥ 英語資格所有者を対象とした選考

教員の種別	中学校教諭(英語) 高等学校教諭(英語)
受験者の条件	次のいずれかの級や得点を平成31年4月1日以降に取得した者。 ・実用英語技能検定(財 日本英語検定協会) 1級 ・TOEFL iBT 100点以上 ・TOEIC 900点以上
選考方法	上記「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。

⑦ 長野県内小・中学校で学級担任経験のある講師で小学校教諭受験者を対象とした選考

教員の種別	小学校教諭
受験者の条件	県内の小・中学校で令和4年度、令和5年度、令和6年度において、それぞれ学級担任(特別支援学級を含む)経験があり、そのうち1回以上小学校の学級担任の経験がある者。

⑧ 長野県内中学校で学級担任経験のある講師で中学校教諭受験者を対象とした選考

教員の種別	中学校教諭
受験者の条件	県内の中学校で令和4年度、令和5年度、令和6年度において、通常学級担任を務めた経験が2回以上ある者。

6 加点制度

(1) 加点制度を利用できる受験者及び加点の方法

- ・ 小学校・中学校教員選考、身体に障がいのある人を対象とした選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考において小学校・中学校教員選考の一次選考「専門教科」受験者は、加点制度を利用できません(養護・栄養を除く)。
- ・ 高等学校教員選考及び身体に障がいのある人を対象とした選考(高等学校教員選考)において、情報以外の教科(養護を除く)の一次選考「専門教科」受験者は、加点制度を利用できます。
- ・ 加点対象となる教員免許又は資格の内容は、下記(2)の表によります。
- ・ 加点方法は、一次選考の「専門教科」の得点に5点又は最大10点を加点します。

(2) 加点制度の対象および資格

加点対象となる教員免許又は資格		加点対象校種と加点		
		小学校 ※2	中学校 ※2	高等学校
①	小学校教諭と中学校教諭の両方の普通免許取得又は取得見込 ※1	5	5	
②	中学校教諭(英語)又は高等学校(英語)の普通免許取得又は取得見込 ※1	5		
③	複数教科の中学校教諭普通免許取得又は取得見込 ※1	5	5	
④	実用英語技能検定準1級又は相当(TOEFL iBT 80点以上、TOEIC 730点以上)の資格取得者	5		
⑤	「情報」の免許取得又は取得見込 ※1 ※3			10

※1 ①、②、③、⑤については、令和7年3月31日までに取得できる見込の者を含む。ただし、取得見込みで受験し、令和7年3月31日までに取得できないことがわかった場合は、必ず申告をしてください。令和7年3月31日までに取得できない場合、加点が無効となり採用内定を取り消す場合があります。

※2 小学校・中学校教員選考は、出願時に、該当する①～④の中から最大2つまで選択することができます。加点は最大10点までとします。

- (例1) 小学校免許と中学校数学の免許を取得している者 : ①が対象。①を選択し、加点5点。
 (例2) 小学校免許と中学校国語、音楽の免許を取得している者 : ①③が対象。①③を選択し、加点10点。
 (例3) 小学校免許と中学校(英語)の免許を取得している者(小学校) : ①②が対象。①②を選択し、加点10点。
 (例4) 小学校免許と英検準1級を取得している者(小学校) : ④が対象。④を選択し、加点5点。
 (例5) 小学校免許と中学校音楽の免許を取得し、英検準1級を取得している者(小学校) : ①④が対象。①④を選択し、加点10点。
 (例6) 小学校免許と中学校社会、技術を取得し、英検準1級を取得している者 : ①③④が対象。中学校は①③、小学校は①③又は①④又は③④を選択し加点10点。

※3 加点利用者は、配置校において「情報」を担当することもあります。

7 試験項目 ○印の項目について、試験を課す。

(1) 小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考(身体に障がいのある人を対象とした教員選考を含む)

選考区分	一次選考						二次選考			
	筆記試験		小論文	適性検査	集団面接	書類審査	適性検査イン	個人面接※2	実技	
	一般教養	専門教科								
(1) 一般選考	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	
(2) 社会人を対象とした選考		○	○	○	○	○	○	○	※4	
(3) 特別選考	①補欠合格者等を対象とした選考	一般						○	※4	
		社会人						○	※4	
	②大学推薦選考		○※1		○		○	○	※4	
	③発達障がい児童生徒特別支援のための選考		○※1		○		○	○	※3 ※4	
	④博士号取得者を対象とした選考	一般			○		○	○	○	
		社会人			○		○	○	○	
	⑤正規教員経験者を対象とした選考		○※1		○		○	○	○	※4
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般			○	○※1	○	○	○	※4
社会人				○	○※1	○	○	○	※4	
⑦長野県内小・中学校で学級担任経験のある講師で小学校教諭受験者を対象とした選考				○		○	○	○		
⑧長野県内中学校で学級担任経験のある講師で中学校教諭受験者を対象とした選考				○		○	○	○	※4	

※1 二次選考の際に参考とします。※2 個人面接を1回実施します。※3 個人面接は、発達障がい児童生徒の模擬授業を含めて実施します。※4 中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技があります。

(2) 高等学校教員選考(身体に障がいのある人を対象とした教員選考を含む)

選考区分	一次選考						二次選考	
	筆記試験		小論文	適性検査	書類審査	適性検査イン	集団面接	個人面接※2
	一般教養	専門教科						
(1) 一般選考	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 社会人を対象とした選考		○	○	○	○	○	○	○
(3) 特別選考	①補欠合格者等を対象とした選考	一般						○
		社会人						○
	④博士号取得者を対象とした選考	一般			○	○	○	○
		社会人			○	○	○	○
	⑤正規教員経験者を対象とした選考		○※1		○	○	○	○
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般			○	○	○	○
社会人				○	○	○	○	○

※1 二次選考の際に参考とします。 ※2 個人面接を2回実施します。ただし、④博士号取得者を対象とした選考においては3回(うち2回は模擬授業を主とした面接)実施します。

(3) スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考(小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考)

選考区分	一次選考						二次選考			
	筆記試験		小論文	適性検査	集団面接	書類審査	適性検査イン	個人面接※2	実技	
	一般教養	専門教科								
(1) 一般選考		○※1		○	○	○	○	○	※4	
(2) 社会人を対象とした選考		○※1		○	○	○	○	○	※4	
(3) 特別選考	③発達障がい児童生徒特別支援のための選考		○※1		○		○	○	※3 ※4	
	④博士号取得者を対象とした選考	一般			○		○	○		
		社会人				○		○	○	
	⑤正規教員経験者を対象とした選考		○※1		○		○	○	○	※4
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般			○	○※1	○	○	○	※4
		社会人			○	○※1	○	○	○	※4
	⑦長野県内小・中学校で学級担任経験のある講師で小学校教諭受験者を対象とした選考				○		○	○	○	
	⑧長野県内中学校で学級担任経験のある講師で中学校教諭受験者を対象とした選考				○		○	○	○	※4

- ※1 二次選考の際に参考とします。
- ※2 個人面接を2回実施します。うち1回はスポーツ関連事項に係る面接を実施します。
- ※3 個人面接は、発達障がい児童生徒の模擬授業を含めて実施します。
- ※4 中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技があります。

(4) スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考（高等学校教員選考）

選考区分		一次選考					二次選考			
		筆記試験		小論文	適性検査	書類審査	適性検査 ライン	集団面接	個人面接 ※2	
		一般教養	専門教科							
(1) 一般選考			○※1		○	○	○	○	○	
(2) 社会人を対象とした選考			○※1		○	○	○	○	○	
(3) 特別選考	④博士号取得者を対象とした選考	一般			○	○	○		○	
		社会人			○	○	○		○	
	⑤正規教員経験者を対象とした選考			○※1		○	○	○		○
	⑥英語資格所有者を対象とした選考	一般				○	○	○	○	○
社会人					○	○	○	○	○	

- ※1 二次選考の際に参考とします。保健体育は実技を免除します。
- ※2 個人面接を3回実施します。うち1回はスポーツ関連事項に係る面接を実施します。ただし、④博士号取得者を対象とした選考においては個人面接を4回(うち2回は模擬授業を主とした面接、1回はスポーツ関連事項に係る面接)実施します。

8 小学校・中学校教員選考における併願制度

小学校教員選考において、第二希望として中学校教員選考(一教科)を併願することができます。また、中学校教員選考においては、第二希望として小学校教員選考を併願することができます。

(1) 併願制度を利用できる受験者

- ・ 小学校・中学校教員選考において、希望する学校種及び教科の普通免許状を有する者又は令和7年3月31日までに取得見込の者(授与申請をし、免許状が発行される見込みの者)

(2) 申込方法及び選考

- ・ 小学校・中学校教員選考で併願を希望する受験者は、出願時に「ながの電子申請サービス」の該当部分に入力してください。
- ・ 試験は、第一希望の校種で行います。第二希望の校種を受験する必要はありません。
- ・ 第二希望の選考で合格となる場合があります。

9 選考基準

(1) 小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考、身体に障がいのある人を対象とした教員選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

① 一次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定
筆記試験	一般教養 (一般教養、教育法規、教育課程等)	—	60点	筆記試験の結果を基に、小論文、集団面接及び書類審査の結果を加味して、総合的に判定する。 5段階 (G, F1, F2, F3, F4) G : 合格 F : 不合格
	専門教科 (教科等の指導に関する内容を含む。小学校は外国語(英語)に関する内容も含む。)	—	100点	
	実技 中学校美術(鉛筆によるデッサン)	発想・構想力、技能等 (25点。100点を含む。)	(25点)	
小論文 ・ 探究的な授業の構想について出題 ・ 800字以内で論述	題意把握の的確さ(根拠の妥当性等)、文章構成の工夫(適切な構成等)、論理的思考力(論旨の展開等)、表記(誤字・脱字、字数制限等)	5段階		
集団面接(与えられた課題について、意見や感想の発表、討論)	意欲、コミュニケーション力、社会性、人間性	5段階		
適性検査・書類審査 (履修内容及び成績、免許、特技等)	選考の参考にする。			

② 二次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等	総合判定
個人面接 (教員採用選考申込書に記入した内容についての質問を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲 (教育への情熱、使命感) ・人間性 (広い視野、確かな人権意識) ・協調性・創造性 (コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心) ・社会性 (真摯な対応、幅広い教養) 	5段階	個人面接及び実技の結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら、総合的に判定する。
模擬授業等 ○与えられた課題について、目の前に児童生徒がいることを想定した模擬指導	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性 (探究的な学びに向けた授業の構想・展開) (児童・生徒、保護者等への適切な対応) 		
実技	中学校保健体育 ・陸上競技、器械運動、ダンス、武道、球技	運動種目の理解、技能、指導力 (中学校保健体育 30点)	5段階 G : 合格 H : 補欠合格 F : 不合格
	中学校音楽 ・指揮(課題曲)、ピアノ伴奏しながら独唱(課題曲) ・独唱又は独奏(任意の曲、任意の楽器)	技能、表現力 (中学校音楽 30点)	
	中学校英語 ・模擬授業、モデルスピーチと英問英答	技能、指導力 (中学校英語 30点)	
書類審査		選考の参考にする。	

(2) 高等学校教員選考、身体に障がいのある人を対象とした教員選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

① 一次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等	総合判定	
筆記試験	一般教養(国・社・数・理・英の基礎的知識、教職及び時事教養)	—	30点	
	専門教科(大学卒業程度の各教科における専門的知識・知能)	—	120点	
	実技	保健体育(陸上競技・球技・器械運動)	実技指導に必要十分な技能の理解・修得状況	(60点)
		音楽(弾き歌い・即興伴奏・新曲視唱)	音楽性、構成力、表現力	(60点)
		美術(鉛筆によるデッサン)	構図、描写力、表現力	(60点)
		書道(漢字仮名交じり・漢字・仮名の書の表現)	表現の技能、表現の工夫	(60点)
福祉(介護・介助)	介護・介助の基本動作、適切な声かけや接し方	(40点)		
小論文 ・探究的な授業の構想について出題 ・600字以内で論述	題意把握の的確さ(テーマ設定、根拠の妥当性等)、文章構成の工夫(テーマに沿った適切な構成等)、論理的思考力(論旨の展開等)、表記(誤字・脱字、字数制限等)	5段階	5段階 G : 合格 F : 不合格	
適性検査・書類審査(履修内容及び成績、免許、特技等)		選考の参考にする。		

② 二次選考

選考内容		評価の観点、段階等	総合判定
個人面接 ○高校生活の印象・大学卒業論文の概要など、事前に提出する「個人面接カード」の内容に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲 (教育への情熱・使命感・目的意識) ・人間性 (広い視野、確かな人権意識) ・協調性・創造性 (コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心) ・社会性 (真摯な対応、幅広い教養) ・専門性 (広い教養、教科の専門的知識・技術、ファシリテーターとしての能力) 	5段階	個人面接及び集団面接の結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら、総合的に判定する。 5段階 (G, H, F1, F2, F3)
模擬授業等 ○与えられた課題について、目の前に生徒がいることを想定した模擬指導(英語の志願者は英語で行う。)	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすさ、的確さ、教師としての姿勢 ・生徒の探究的な学びを支援する力 		
集団面接(与えられた課題に対する意見・感想の発表や討論)	意欲、人間性、協調性・創造性、社会性、専門性	5段階	G : 合格 H : 補欠合格 F : 不合格
書類審査		選考の参考にする。	

10 大学院修士課程等在学者・進学者に対する採用猶予

- (1) 本年度の採用選考の合格者（特別選考「大学推薦選考」、身体に障がいのある人を対象とした教員選考「大学推薦選考」での合格者を除く）で、大学院修士課程（博士前期課程及び教職大学院を含む）に在学している者又は来年度進学することが決定している者については、大学院に在学している者は1年間、来年度大学院に進学する者は2年間、採用を猶予します。
- (2) 小学校、中学校、特別支援学校の採用猶予者は、大学院在学中に受験校種（教科）もしくは受験校種（教科）以外の専修免許状を取得することを条件とします。
- (3) 猶予期間のうちに大学院修士課程（博士前期課程及び教職大学院を含む）を修了することとします。
- (4) 別途定める方法により、令和6年11月11日までに採用猶予願の提出が必要です。
※ 大学院の合格発表が11月11日より遅い場合は御相談ください。

11 妊娠者等に対する採用猶予

- (1) 本年度の採用選考の合格者で、令和6年度に妊娠されている者及び令和6年度末時点で0歳、1歳の子の養育をしている者は、男女を問わず希望により、採用年度と採用次年度の最大2年間は採用を猶予することができます。
- (2) 猶予期間終了後の4月1日から勤務することを条件とします。
- (3) 別途定める方法により、令和6年11月11日までに採用猶予願の提出が必要です。
※ 採用選考申込み時に、妊娠中の方及び0歳、1歳になる子の養育をしている方、又は申込以降に妊娠が判明した方は御相談ください。

12 信州UIJターン秋選考実施要項

募集する 学校種・教員の 種別	学校種：小学校、中学校、特別支援学校、高等学校 教員の種別：小・中学校教諭、特別支援学校教諭、高等学校教諭 ※ただし、令和7年度長野県公立学校教員採用選考の結果により、実施しない学校種・教科がある。
募集人数	実施する各選考若干名
受験者の条件	次のいずれにも該当する者 ・令和7年度長野県公立学校教員採用選考資格者であり、令和7年度長野県公立学校教員採用選考未受験者 ・長野県以外の国公立学校の正規教員であり、受験時に1年以上の正規教員経験がある者
募集案内発表	9月24日(火)長野県教育委員会ホームページ
募集期間	9月24日(火)から10月31日(木)まで
出願方法	「ながの電子申請サービス」を用いた電子申請。出願方法等の詳細は、長野県教育委員会ホームページをご覧ください。 小学校・中学校教員志願者は、併願制度が利用できます。 出願受理後に「オンライン適性検査」の案内をメールで送付します。
選考日・会場	11月23日(土)・時間、会場については受付後受験者に通知。
選考会場での 提出書類	受験票、学業成績証明書、正規教員経験者を対象とした選考用履歴書（長野県教育委員会ホームページより入手してください。）、返信用封筒(長形3号 110円切手を貼る)、
結果の通知	ア 合否結果並びに総合評価、個人面接の段階別評価を郵送にて12月上旬に通知します。 イ 通知発送日と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。
猶予制度	大学院修士課程等在学者・進学者に対する採用猶予はありません。 妊娠者等に対する採用猶予を希望する場合は12月23日までに採用猶予願の提出が必要です。

選考内容	評価の観点等	総合判定
個人面接 (信州UIJターン秋選考申込時に記入した内容についての質問を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲（教育への情熱、使命感） ・人間性（広い視野、確かな人権意識） ・協調性・創造性（コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心） ・社会性（真摯な対応、幅広い教養） 	個人面接の結果、書類審査を基に、総合的に判定する 3段階 (G, H, F) G：合格 H：補欠合格 F：不合格
模擬授業等 ○与えられた課題について、目の前に児童・生徒がいることを想定した模擬指導 口頭試問 ○教科に関わる質問	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性 (探究的な学びに向けた授業の構想・展開) (教科の専門性) (児童・生徒、保護者等への適切な対応) 	
書類審査・適性検査(事前にオンラインで実施)	選考の参考にする。	

13 選考の結果

(1) 小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考における結果の通知

① 一次選考結果

- ア 合否結果並びに不合格者に係わる総合評価、集団面接及び小論文の段階別評価並びに一般教養、専門教科及び実技の得点及び平均点を郵送にて7月下旬に通知します。
- イ 通知発送日と同日に、合格者の受験番号を本県教育委員会ホームページに掲載します。
- ウ 一次選考合格者に係わる総合評価等については、二次選考結果通知にあわせて通知します。
- エ 一次選考合格者には、別途メール(出願時に使用したメールアドレス宛)でオンライン適性検査の連絡をします。指定する期間内にオンライン適性検査を行ってください。

② 二次選考結果

- ア 合否結果並びに総合評価、個人面接及び実技の段階別評価を郵送にて9月下旬に通知します。
- イ 通知発送日と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

(2) 高等学校教員選考における結果の通知

① 一次選考結果

- ア 合否結果並びに不合格者に係わる総合評価、小論文の段階別評価並びに一般教養、専門教科及び実技の得点及び平均点(以下総合評価等)はながの電子申請サービスを用いて通知します。7月下旬に申込時に登録したメールアドレス宛に確認が可能になった旨お知らせしますので、各自でアクセスしてください。
- イ ながの電子申請サービスでの確認可能通知と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。
- ウ 一次選考合格者に係わる総合評価等については、二次選考結果通知にあわせて確認できます。
- エ 一次選考合格者には、別途メールでオンライン適性検査の連絡をします。指定する期間内にオンライン適性検査を行ってください。

② 二次選考結果

- ア 合否結果、二次選考の総合評価、及び一次選考の総合評価等はながの電子申請サービスを用いて通知します。9月下旬に申込時に登録したメールアドレス宛に確認が可能になった旨お知らせしますので、各自でアクセスしてください。
- イ ながの電子申請サービスでの確認可能通知と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

(1)、(2)の選考結果については、口頭で開示を請求することもできます。ただし、一次選考合格者は、選考試験が継続して行われるため、二次選考結果通知後に開示請求ができるものとします。

- ・開示する期間は、選考結果の通知日から1年間です。
- ・開示する場所は、長野県教育委員会事務局義務教育課又は高校教育課(長野県庁8階)です。
- ・必要書類は、運転免許証、学生証等本人であることを証明できるものです。

14 その他

- (1) 採用選考の実施に際して収集する個人情報、この採用選考及び臨時的任用のために必要な範囲でのみ利用します。
- (2) 提出された書類等は、一切返却しません。
- (3) 一次選考の一般教養、専門教科の問題用紙は持ち帰りができます。
- (4) 本年度の採用選考で補欠合格者又は合格者となった者は、次年度、特別選考「補欠合格者等を対象とした選考」を受験することができます。